

2008年12月吉日

県議会一般質問傍聴のご案内 VOL.39

岡山県議会議員 総務委員会委員長 佐藤真治

平素より一方ならぬお世話になりまして、誠にありがとうございます。

さて、10月26日投票の大激戦の知事選挙を経て、4期目の石井県政がスタート致しました。まさに、「景気対策」か、「財政再建」か、「改革による経済成長」か、幾つかの選択肢の中で、国は大きく、当面の「景気対策」に舵を切ろうとする一方で、地方は、国のように赤字国債の発行や増税という手法を持たないため、岡山県は、6月の「岡山県財政危機宣言」を受けた『財政構造改革プラン』、さらには、大激論を経た『行財政構造改革大綱(案)』を示し、総額396億円の財政効果を目指す、いわば全治4年のさらなる改革を断行します。特に、県庁職員の方々の全都道府県中で最大の平均7.4%の給与カットも行われ、しばらくは、岡山県にとって最も厳しい時代が続くと思われれます。

特に、今年度は、私が、委員長を務める総務委員会がまさに当たり年で、この行財政改革の問題に加えて、消防防災ヘリコプター、倉敷チボリ公園、岡山市の政令指定都市化、道州制など、岡山県の重要課題について、非常に難しい議論を続けております。しかし、こういう時だからこそ、必ず未来に花開く蕾をしっかりと育てて参ります。

また、自民党県連青年局長としては、昨夏からの毎週の岡山駅前等の定期街頭演説も70回を超えましたが、麻生政権誕生以後、結党以来、最も厳しい状況にあると益々肌で感じるようになっており、来たるべき総裁選挙、解散総選挙においては、まさに、私自身の真価も問われる激しい戦いになるものと覚悟しております。

さて、電子メール配信による県政報告も、「継続こそ力なり」と、通算3110号を越えましたが、本日は、36回目の一般質問の日程が決まりましたので、お知らせをさせていただきます。今回は、一般質問初日、12月9日(火)のトップバッターです。午前10時30分開会ですので、それまでに、議場にお越し頂ければ、確実に傍聴頂けます。

今回は、総務委員会での議論は質問ができないため、「リーグ入りを決めたファジアーノ岡山の支援」という話から、現下の厳しい経済状況における中小企業への支援、介護報酬、マスク生産振興、農商工連携、警察署所管、パーキングパーミット制度等々、多岐にわたり提言、質問をさせていただきます。ご都合がつくようでしたら、是非ともご来場下さいませ。心からお待ち申し上げます。(なお、ケーブルTV、インターネット中継もごさいます)

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

~~~~~

佐藤真治事務所 〒700-0827 岡山市平和町4-11

TEL 086-225-8000 FAX 086-225-8806